

女神に

異世界召喚で

無双

しないかと誘われたけど

断ったら

身体

言っ事聞かされちゃいました…

はらへら
hara hera

R18

…あれ
ここどこだ？

家で寝たはずだよな



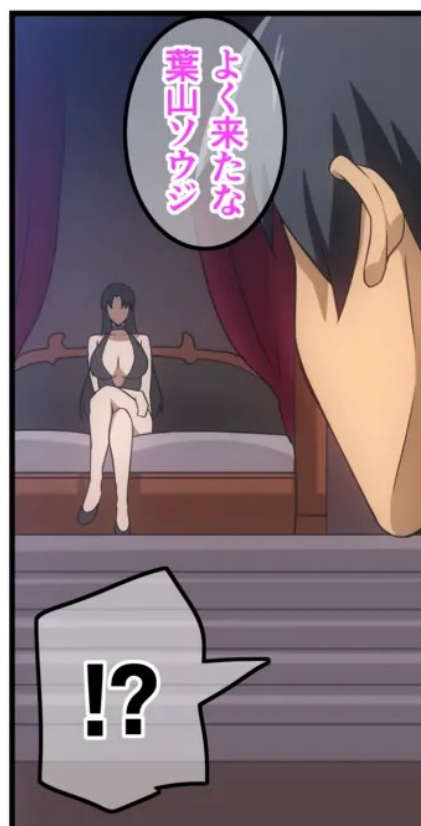
だ、誰!?

私は女神ルナ
君をここに召喚した者だ



うわっ
床冷たっ!
!

なんで俺裸なんだ?!



よく来たな
葉山ソウジ

!?

召喚……？

えっ？
これ夢……？

小説の書き過ぎで
こんな夢見てるのか？

ちょっと困った事が
あって助けてほしいくてな

適性のある君を
こちらに呼び出したんだ

私の管理している
世界が最近
荒れていてな

夢じゃない……？

君にはそこへ行つて
私の授けた力を使って
世界を正して欲しい

えっと……それって
俺が異世界に行つて
悪者退治みたいなの……？

うむ、流石に
察しが良いな

君、そういうの好き
だろ、小説書いていた位だし

現実から異世界に
召喚されてチート能力
で無双する……

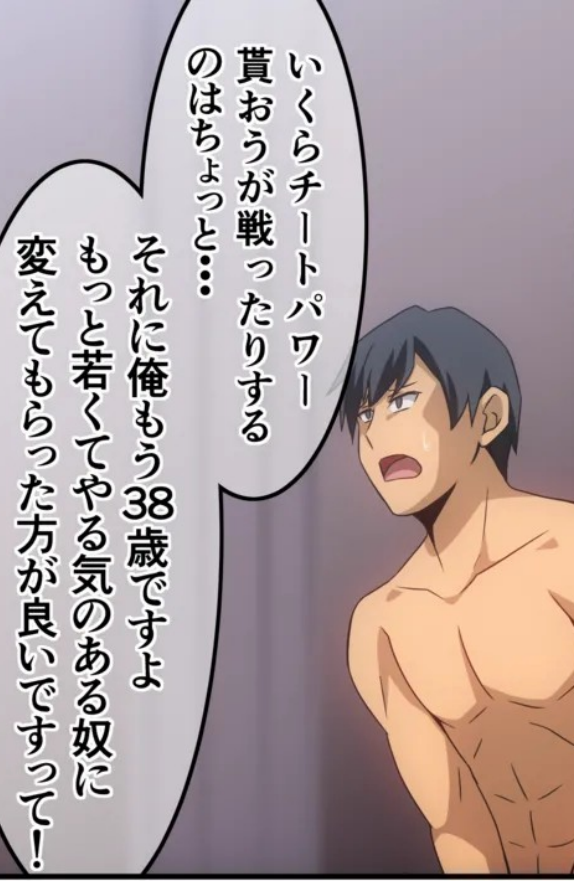
夢が叶ってよかった……

お断りします



…何故だ？

いや俺今書いてる小説
書籍化もアニメ化もして
充実した毎日送ってるんです



いくらチートパワー
貰おうが戦ったりする
のはちよっと…

それに俺もう38歳ですよ
もっと若くてやる気のある奴に
変えてもらった方が良いでしょう！



それに実際経験すれば
もっとリアリティのある
話を書ける様になる
かもしれんぞ

それは、まあ…でも
その間ファンの人達
待たせるの申し訳無い
しなあ…



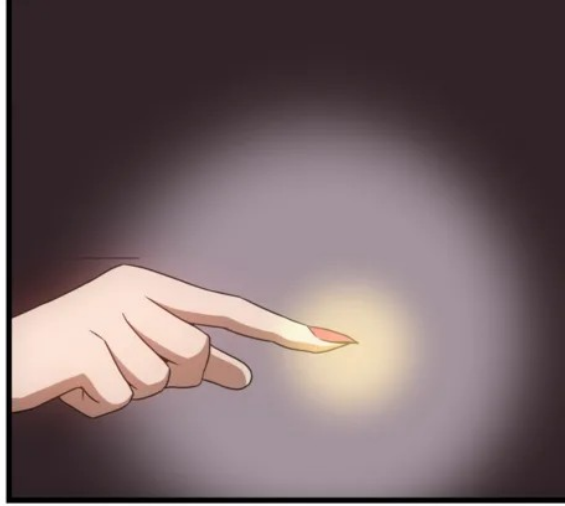
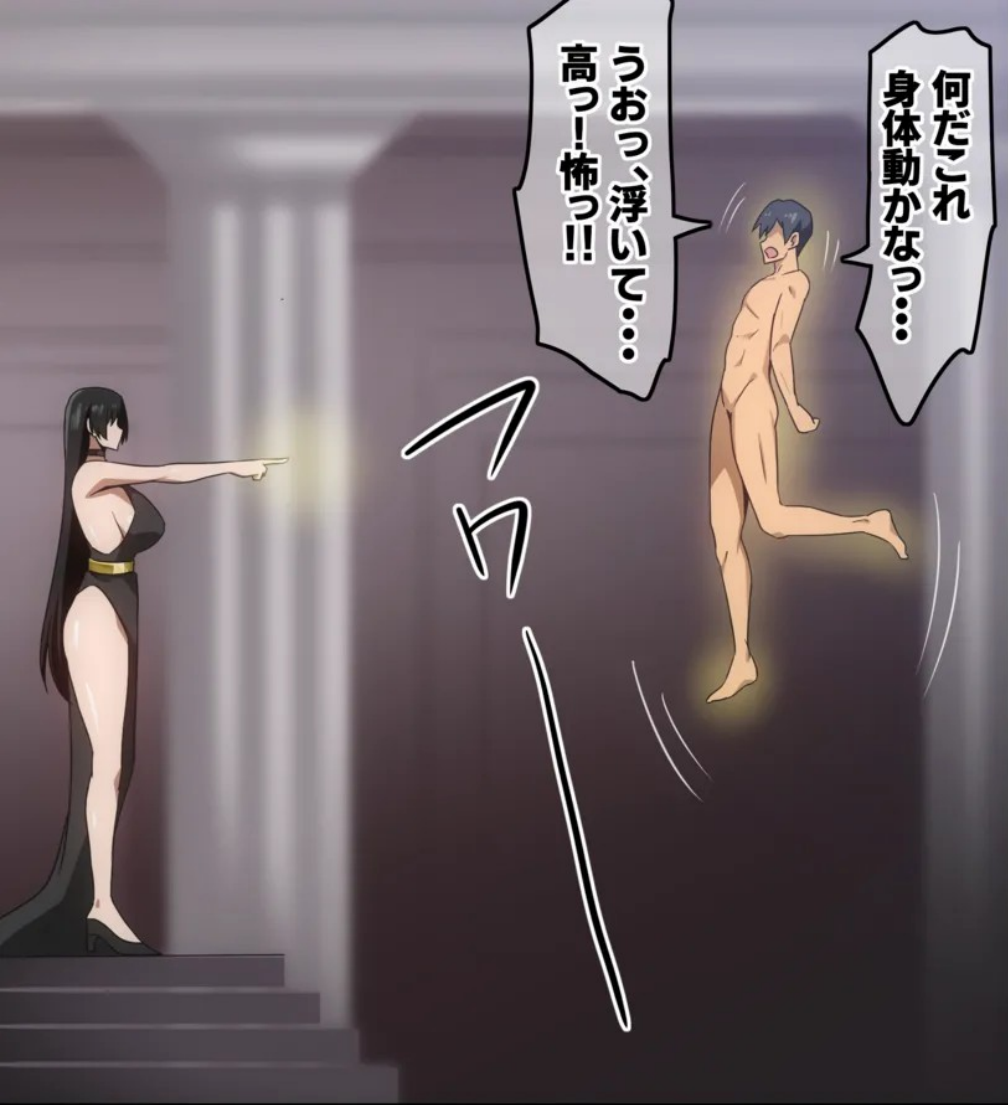
適正のある者しか
ダメだと言ったろう
それにお前はそういう
方面の知識もあるから
説明の手間も省けて
助かるんだ

こういう状況でいきなり
ステータスウィンドウ開けと
言われてもすぐ分かるだろ

ま、まあ
そうっすね…



ふん、あと二押し
と言った所だな…





確かお前は
女性経験が無かったな

!!



どうだ?
女性の身体は
柔らかいだろうか?

ナデ
ナデ

オユ
ウ

!!



だが向こうへ行けば
彼女などいくらでも
出来るぞ

強い男に女は
惹かれるからな

ホッ

い、今更
彼女なんて...



小さい頃から人付き合い
が苦手な学校のクラスで孤立...

ゲームとアニメが
唯一の楽しみで社会人
になっても彼女など出来ない

もう最初から自分に
彼女などと諦めている

オユ
ウ

ニタ
バタ



女を知らないから
そんな事が言えるんだ

!?

ち、ち、ちめいも...

私が今から
教えてやるわ

肉の快楽を頭の芯まで
しみ込ませて二度と
忘れない様にしてやる



ニ
ル
〇〇〇

そうすれば向こうは
お前にとって天国の様
になるだろうと...

うお...
すげえ...

フリン
フリン

クク
クク
クク

チン...





駄目っ…だ…

あ…あがっ…



ひあ…

しお…



うおおっ!!

と止まらないっ!!

ドブツ
ドブツ

ちゅ
ちゅ
ちゅ



精力も強化…と



うおおっ…
オオオ



おっと、いかんいかん
身体は強化されても
精力は別だった

出す力が強すぎて
中身が空になって
しまった

しお
しお

身体強化と
精力は別なのか…



…っ!!

では本番だ
覚悟は良いか?



どうだ?
もう何度でも
精液出せそっだろっ?

ああっ…でもこれ頭が
おかしくなりそっ…



入れるぞお...
おめめあ...

おめめあ...!!!



この硬さ...
まるで槍の様だな



うめ...すい

ちゅちゅ...



おめめあ...
ちゅちゅ...♡♡♡

全部入っ...たあ...

ちゅちゅ

ちゅちゅ

ブルブル...

ブルブル

ブルブル

ちゅちゅ

ちゅちゅ

動くぞ…

ぬいぽ
ぽぽ

皮が余らない位パンパンに
膨れ上がってるせいでコダが
全部引っかかって…!!

ぐちゅー

ぽぽ
ぽぽ

し、刺激が強すぎる

じゅわんじゅん!

ぞわ
ぞわ

あああ…
カリ首が全部
掻き出さないとこに来る…

抜くだけで
気をやりそうだ…

ず
ず
ず

ふっ!!

ず
ず
ず

いんじゅん!!



あーっ♡♡♡♡♡

あーっ♡♡♡♡♡

あーっ♡♡

あーっ♡♡

あーっ♡♡

あーっ♡♡

あーっ♡♡



良いぞ出せ出せ
とっきみたいだ
勢い良く私の子宮に
ぶちまける!!

あーっ!!

あーっ!!

あーっ♡♡

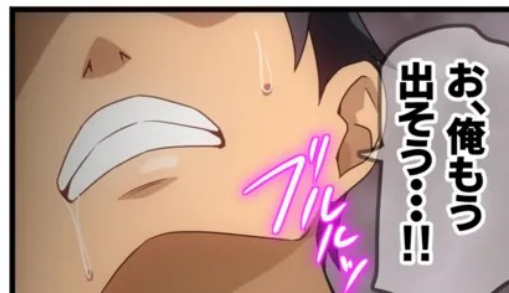
あーっ
いくっ…イクッ!!



女神の私が人のモノで
イカそれぞっただよ♡

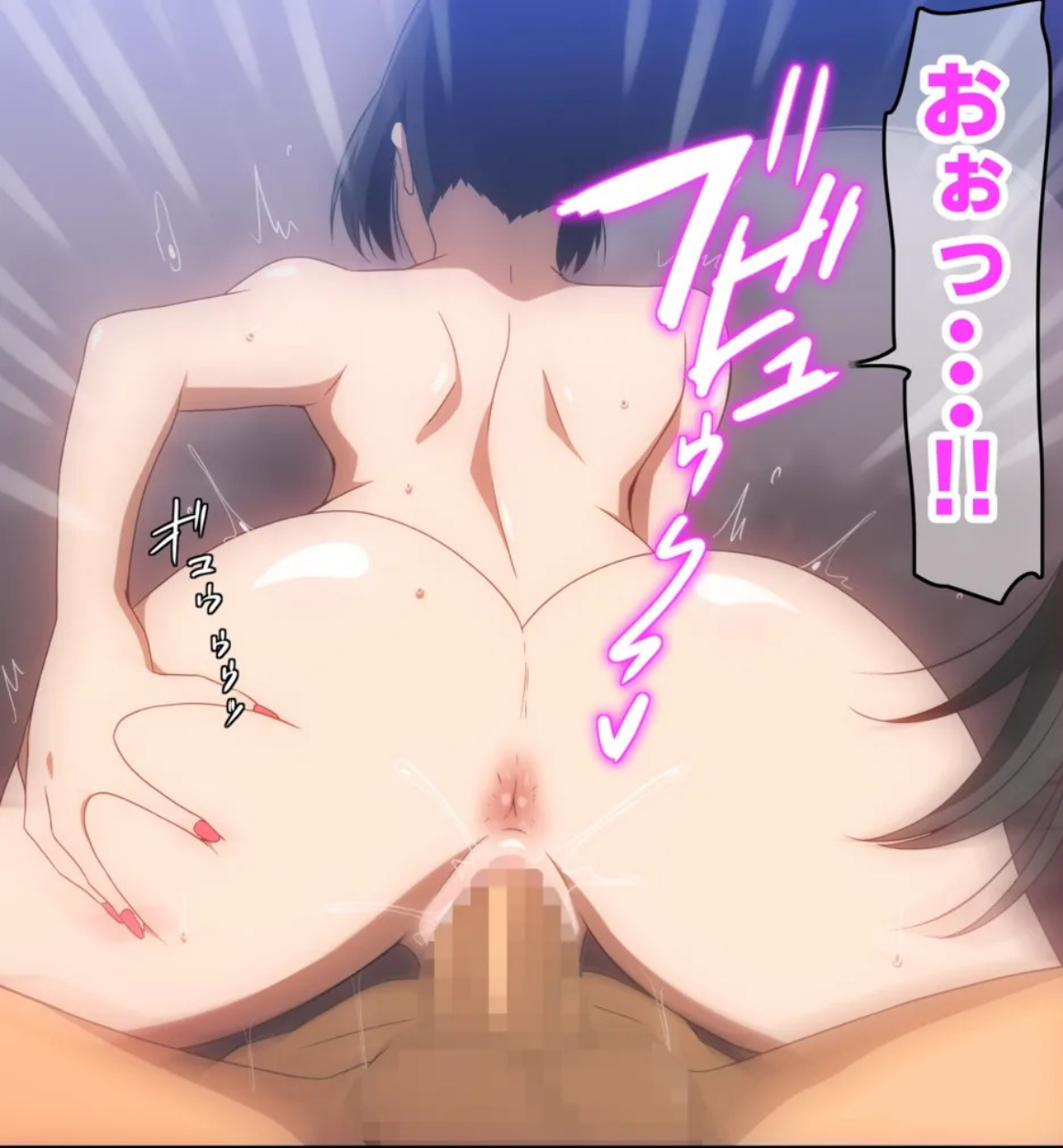
あーっ♡♡

あーっ♡♡



お、俺もっ
出んっ…!!

あーっ♡♡





ふっ！

ああっ♡

ふっ！

あ♡♡♡

あ♡♡♡



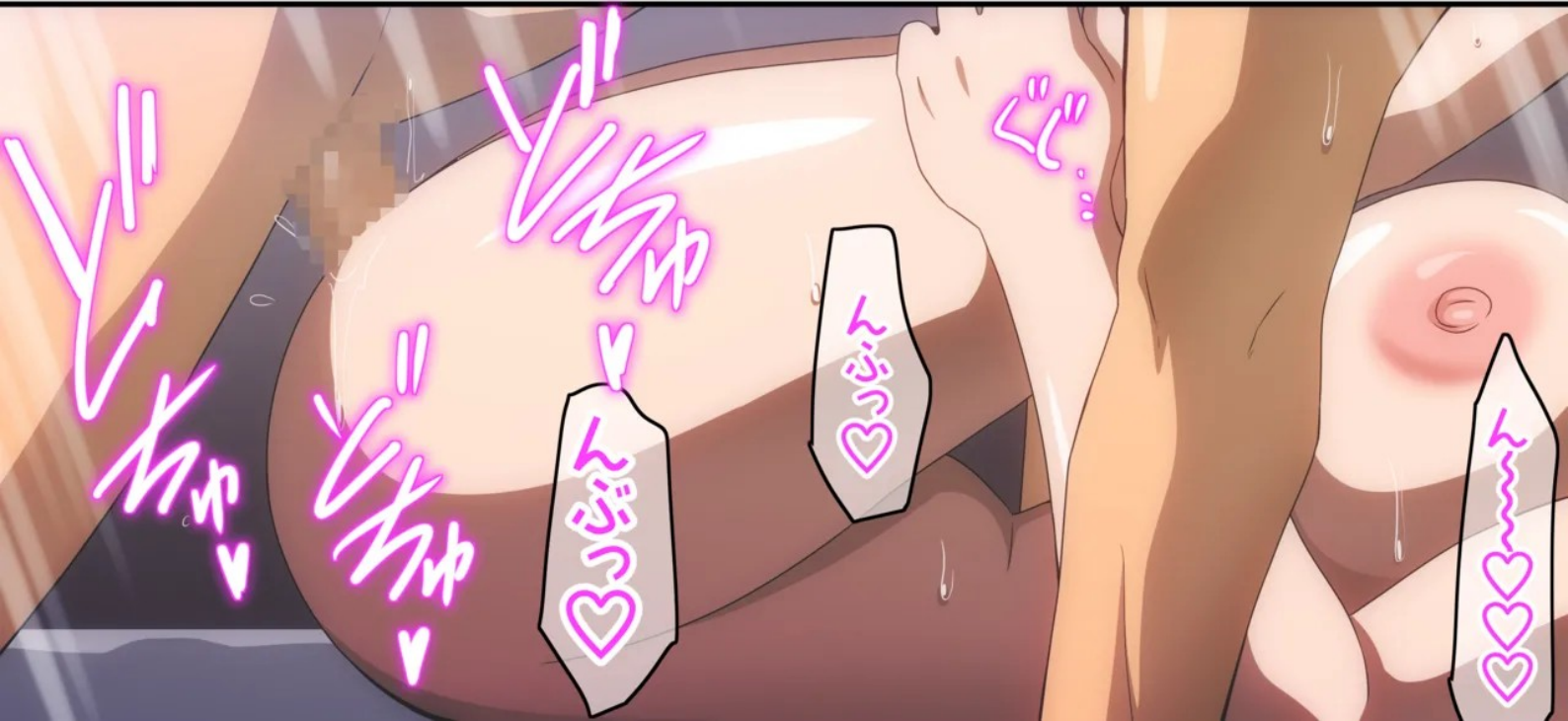
ふっ！♡

あ♡♡♡



ふっ！

あ♡♡♡



あ♡♡♡

ふっ！♡

あ♡♡♡

あ♡♡♡

あ♡♡♡

3回目なのに凄い量…

うっふんっ♡

んー♡

出すたびにとんでもない
快楽が押し寄せてくる

頭が何回も飛んだ
感覚がある

それでも正気なのは
強化されたからなの
だろうか

ああでもこれは
病みつきになる！

あはっ…
まだ…出来るかっ

もっとこの快楽を
味わい尽くしたい！！

その後も俺は
女神を抱き続けた

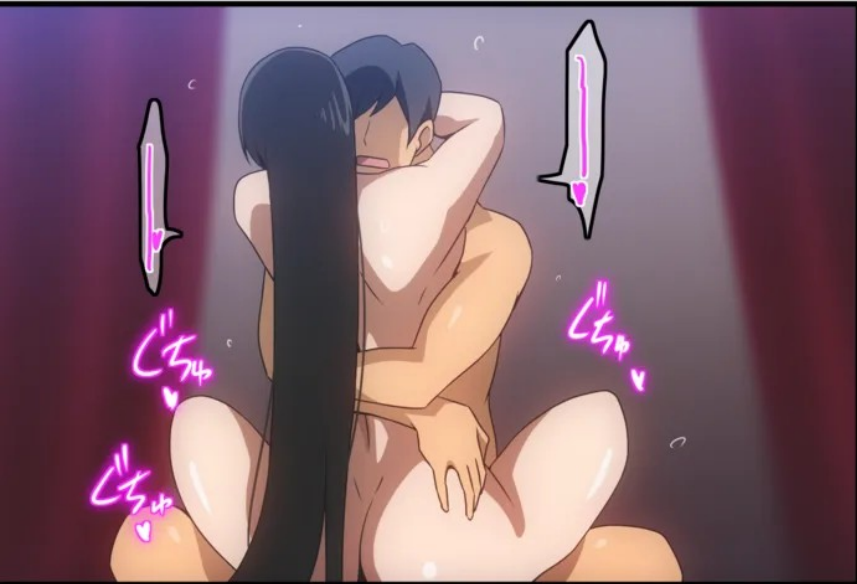
お互い無尽蔵の精力
終わりの見えない
快楽地獄だった





ふふ、まさか人間が私をここまで楽しませるとは思わなかったぞ

何か褒美をやらんとなあ



気を良くしたのか女神は行為の最中も俺に力を与え続け…

ほれ、受け取れ



終わる頃には俺に身体のほころの数は10になっていた…

嬉しいぞ私の願いを
聞いてくれて

体中ほくろだらけに
なってしまった...

...まあ
あれだけやって断るの
もアレですし...

...それで俺は
向こうで何を
すれば良いんです？

狩りだよ

あちら側には昔
お前同様私が力を授けた
者が何人かいたんだが

そいつらの子孫の中から
その力を使って好き放題
暴れまわる奴らが現れてしまった

流石に目に余る様に
なって来たからお前に
狩ってきて欲しい

お前に与えた能力の中に
私の力を好きに委譲できる
権限を与えたからそれを使え

狩りって…

安心しろお前に与えた
力はかなりのものだ
向こうの奴じゃ
相手にもならんよ

やる気になれば
すぐ終わる仕事だ
まあ気楽にやってくれ

ほれ、お前のスマホだ
私と会話できる様に
しておいた

何か分からない事が
あったら聞いてくれ

す、スマホ…

テレパシーとか
じゃないんだ…

説明は終わりだ
そのゲートから
異世界へ行ける
準備は良いか？

うおっ…

うおっ…
なんか怖いなあ…

オオオ

異世界で無双か…
若い頃は憧れていたが
まさかこの歳で現実に
なるとは…

まあここまで来たら
なる様になれだ！

それに…

それじゃあ
行ってきます…

ああ、
楽しんでおいで



さっきの行為が
頭に焼き付いて離れない

俺は女神の言った通り
肉の快楽を忘れられなく
なってしまったのだ



またあれを味わいたい
思いで俺は異世界へ
旅立った

